

地理B

第1問 (配点16点: 各2点、他3点) 【世界の自然環境】問1 ① 【基本】地軸の傾きを考える

- ① Aは赤道に近い熱帯収束帯である。熱帯収束帯が南半球にあるので、太陽とは反対側に地軸が傾いている。この場合、南半球は太陽に最も近く、夏になっている。よって、南半球が夏なのは1月である。
- ② 熱帯収束帯が北半球になければならない。
- ③④ 寒帯前線帯はおよそ緯度60度付近である。

問2 ④ 【基本】寒流のベンゲラ海流をみれば正解がわかる。これだけが正しい。

暖流はモザンビーク海流。南半球の海流は反時計回りに流れ、北半球は時計回りに流れる。

- ① 暖流は赤道から流れ、極から流れない。
- ② 寒流は極から流れ、赤道から流れない。
- ③ 寒流は大陸の西側を流れる。

問3 ③ 【基本】断面図に含まれる大地形を考える。

F アパラチア山脈がある→イ 低地に続いて、2000mほどの山脈。それぞれ、メキシコ湾岸平野とアパラチア山脈を表す。

G アラビア半島はアラビア楕状地→ア もっとも高度差がない。

H ガンジスデルタからヒマラヤ、チベットと続く→ウ 低地のあと6000mの高原になっている。

問4 ① 【基本】いくつかのキーワードから特定する。2003年B本7で黄河が同じ形式で出題された。

湿潤地域から乾燥帯を貫流する→外来河川である。

雑穀が栽培→アフリカのサバナ農耕文化の特徴

下流はふたたび多雨→熱帯

河口はデルタで油田地帯 以上からw ニジェール川

x インダス川→外来河川だが、河口は砂漠で油田なし。カラチ(BW)が有名。

y 黄河 →外来河川だが、上流に疎林の代表であるサバナはない。黄河は黄海に流れ、黄海に油田がある。

z マリー川 →外来河川だが、河口に三角州はない。また油田もない。

問5 ⑥ 【基本】新しい出題形式か。写真から地形を判断し、空欄に補充。カール、U字谷の空欄補充は2009年追試で出題された。

タ 大きな谷。U字谷。

チ 四方から削られたホーン。

ツ 山頂が碗状に削られたカール。

R フィヨルドはU字谷の沈水で形成される。

問6 ② 【易】センター試験はCsが本当によく出る。都市は不明。ローマか?

① Aw パオバブはマダガスカルが有名。

③ しい・かし・くすはCw

④ モミ・ツガは常緑針葉樹。特にDの南部Dfa, Dfb, Dw, Dwbに分布。

■熱帯収束帯の位置関係は地軸を動かすとわかりやすいが、苦手とする受験生もいるだろう。そのほかの問いは標準的で、断面図、写真、雨温図がでた。Csは頻出である。また、過去に出題された問題や形式があった。

第2問 (配点18点：各3点) 【世界の農水産物の生産や供給】

- 問1 7 ① 落花生 アンデス原産はトウモロコシやジャガイモなどたくさんある。A・Bとも新大陸農耕文化にあてはまる。消去法で解いたらいいだろう。
- ② 天然ゴム アマゾン原産。現在の主産地は東南アジア。頻出事項。
- ③ 小麦 西アジア原産。地中海農耕文化。人口大国の中国・インドの生産量が多い。
- ④ 砂糖黍 東南アジア原産。根栽農耕文化にあてはまる。ヤムイモ、タロイモ、バナナが代表。同じ焼き畑で栽培される芋でもキャッサバは南米原産。

根栽農耕文化

東南アジアの熱帯雨林

根栽類(いも類)の栽培化：採集経済→農業経済

ex. バナナ、ヤムいも、タロいも、砂糖黍〈トウモロコシ〉

サヴァンナ農耕文化

ニジェール川流域

1. 雑穀(穀類)：栽培化によって、貯蔵・輸送に便利な食料の開発に成功した

ex. シコクビエ、黍〈キビ〉、粟、

2. 豆類 ex. 豇豆〈ササゲ〉

3. 果菜類 雑穀食料化に豆類・果菜類が加わり、根栽農耕文化の農産物に比べて、栄養上バランスの良い食料が確保された。

ex. 瓢箪〈ヒヨウタン〉、西瓜〈スイカ〉、胡瓜〈キュウリ〉、茄子〈ナス〉

4. 油料種子の栽培化→植物油の食料化

ex. 胡麻〈ゴマ〉

地中海農耕文化

1. 麦類 ex. 小麦〈コムギ〉、大麦〈材キ〉、ライ麦、燕麦〈エンバク〉

2. 豆類 ex. 豌豆〈エンドウ〉、空豆〈ソラマメ〉

3. 野菜類 ex. 甜菜〈テンサイ〉、大根〈ダイコン〉、白菜〈ハクサイ〉、蒞蓼草〈ホレンソウ〉

新大陸農耕文化

根栽・サヴァンナ農耕文化の複合 cf. 地中海農耕文化に対応する作物は発生せず

1. 根栽農耕文化に対応する作物

ex. キャッサバ、ヤウティア(サトイモ科)、パイナップル →ベネズエラで栽培化

サツマイモ(甘藷〈カンショ〉) →メキシコで栽培化、

ジャガイモ(馬鈴薯) →ペルーやボリビアのアンデスの高地で栽培化

2. サヴァンナ農耕文化に対応する作物

ア. 雑穀 ex. 玉蜀黍〈トウモロコシ〉

イ. 豆類 ex. 菜豆〈サイウ〉(隠元〈インゲン〉)、落花生

ウ. 果菜類 ex. 南瓜〈カボチャ〉、トマト、唐辛子(蕃椒〈トウガラシ〉)

- 問2 8 ⑤ 経済発展によって畜産物の消費、生産が増加することを読み取る。
- F 豚肉←中国は世界の豚の半数が飼育されている。デンマークはベーコンなどの加工品が代表
- H ジャガイモ←アンデスやドイツ、ポーランドなどで生産が多い。
- G 牛乳←デンマークの集約的酪農。ポーランドの畜産物の増加。
- 問3 9 ④ バーチャルウォーター(仮想水)とフードマイレージに関する記述。仮想水に関しては問題文通り。フードマイレージは農作物を輸送する時にCO2が発生し、それは農作物の重量と輸送距離が大きく関わっているということ。よって、フードマイレージを小さくする方が環境によく、地産地消につながり、自国・地元農業を支えることにつながる。フードマイレージの計算は重さ×距離で表す
- ① タイよりイタリアのポー川のほうが集約的で生産性は高い。
- ② 通常、機械化や農薬、肥料などが普及すると、実施できる農家とできない農家との間で所得格差が生まれる。改革開放政策以降、中国は社会較差が大きい国。中国の生産性向上は緑の革命とはいわない。
- ③ 北部は氷河の影響で痩せ地(ムーアランド)。牧羊、仔牛飼育地域。ペニン山脈西側(ランカシャー)は綿工業、東側(ヨークシャー)は牧羊、毛織物が発達。酪農は南部など都市周辺。1998年追試でランカシャーの綿工業が出題。
- 問4 10 ④ 【やや難】鳥インフルエンザのヒントもあるので考えやすい。
- S 中国 タイとともに鳥インフルエンザで輸入が減少。同じアジア
- T ブラジル 現在、ほとんどの輸入先。スーパーでもよくみる
- U アメリカ それほど輸入が多くない。スーパーでもあまり見ない。
- 問5 11 ③ 【易】
- X イのペルー沖。南東太平洋←アンチョビ
- Y アの日本近海。北西太平洋←世界最大の漁場
- Z ウの南氷洋。←領有を認められず
- 問6 12 ① 【基本】1950年は早過ぎる。日本はまだ復興段階。ベトナムは第一次インドシナ戦争(1946～54)。エビの輸入→80年代後半にインド、タイ、インドネシア。ベトナムのエビ養殖は90年代から本格化。
- ② 正しい。労働力は安い。
- ③ コールドチェーンのこと。
- ④ 近年、トレーサビリティが普及。

■主に農作物の流通に関する問いが中心であった。知識が必要な問いもあり、やや難しく感じたかもしれない。12は普段の生活と地理の授業がつながっていることを示した問いといえる。

第3問 (配点17点：14 2点、他3点) 【世界の村落・都市と生活文化】

- 問1 13 ③ 【難】村落の形態はわかるが、地域と結びつけるとなると難しい。
- イ 散村の記述。広い草地、家畜飼育→遊牧や酪農地域と合致?→X
- ウ 塊村の記述。古くから農業が盛ん→三圃式から混合農業へ?→Z
- ア 列村(路村)の記述。中世以降に森林を開拓→林地村→残りのY
- ドイツ=林地村としたいところだが、図と合わない。

問2 14 ④ 【やや難】通常、2位都市は1位都市の1/2の人口。3位都市は2位都市の1/2の人口のように、人口が対数曲線に近くなりやすいが、プライメートシティではその曲線から大幅にはずれる。

- ① プライメートシティは行政・商工業機能が一極集中している場合に見られるので正しい。
- ② いわゆる人口構成がピラミッド型の国。途上国といえる。途上国は農村人口が多いが、若年人口率が高い。農村で余剰人口が発生し、若年人口が都市へ流れるが、都市の発達が未成熟なので、特定の都市へ集中する傾向が強い。
- ③ 旧植民地時代の都市が現在でも中心地となっており、行政や商工業の中心地機能が集まっている。
- ④ 都市・(近代)工業の発達が古いと同規模の都市ができやすく、プライメートシティになりにくい。独、日、仏、米、中、印など。

問3 15 ①

- ④ 都市人口率が低い。高齢化も進んでない→インドネシア
- ② 都市人口率が高い。高齢化は進んでいない途上国→ペルー←南米は都市人口率が高い地域。
- ③ 最も高齢化が進んでいる→日本
- ① 都市人口率が高い。高齢化社会になっている。→カナダ 気候が厳しいため都市に人口が集まる。

問4 16 ④ 上座部仏教はミャンマー、タイ、ラオス、カンボジア。インド系の文字を使用。漢字は中国・台湾・日本で使用されている。東南アジアでベトナムはアルファベットを使用している。

- ① 宗教が復興→ロシアでは宗教が弾圧されていた。
- ② イスラム暦は太陰暦で私たちが使用している太陽暦のカレンダーと違う。
- ③ インドではカースト制度が残り、日常生活に深く関わっている。本文にあるような障害はあるが、カーストによる差別は憲法で禁止されている。

問5 17 ① 【基本】2007年追17にほとんど同じ問題が出題。日・米・印で出題。

- ③ インドで多くの割合を占める。エンゲル係数が高い→食料
- ④ インドではほとんどなく、その他先進国では同じ程度にある→娯楽←途上国では娯楽にお金を使う余裕はない。
- ① アメリカで多く、日本やスウェーデンで少ない→保健・医療←日本・スウェーデンは皆保険制度で医療費は安い、アメリカは皆保険制度がなく民間の保険に加入しないといけなく、医療費が高くなりやすい。
- ② 残り→住居

問6 18 ④

- ① エコツアーは自然・環境のよいところで行われる。専門のガイドが案内してくれる。コスタリカの雲霧林が有名。
- ② インドネシアのバンドンが当てはまる
- ③ グリーンツーリズムは農村体験型の余暇。
- ④ ハワイ・グアム・北マリアナ諸島を含むとアメリカが1位

2010 (千人)			
日本からの出国先		日本への入国	
アメリカ	4,464	韓国	2,440
中国	3,731	中国	1,413
韓国	3,023	台湾	1,268
ホンコン	1,317	アメリカ	727
台湾	1,080	ホンコン	509

アメリカはハワイ・グアム・北マリアナ諸島を含む

2010年は「観光白書2011」より

■ やや判断に迷う問いがあり、(13 14) やや難。逆に 17 のようにほとんど同じ問題が出ている。13 のように明確に村落形態の地域性がでてくるのか疑問。日本では混在しているように思う。全体的に難。

第4問 (配点18点：各3点) 【オセアニアの地誌】

問1 19 ② 南半球であること、緯度による気温の違いに注意する必要がある。

ア Cs → A パース

イ Cfb ← 一見Csのようだが、夏と冬の降水量の差が3倍未満なのでf型になる。また、ウよりも夏の気温が低いことから極に近い地域→C ウェリントン

ウ Cfa → B シドニー ぎりぎりaになる。

都市	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全年
199 Perth (31° 56' S, 115° 58' E)		24.5 6.6	24.9 18.8	23.0 16.3	19.6 36.3	16.2 93.5	14.0 147.8	13.1 149.3	13.4 117.7	14.6 78.8	16.4 45.3	19.3 26.7	22.1 8.1	18.4°C 745.4mm
200 Sydney (33° 56' S, 151° 10' E)		22.8 121.9	22.9 120.0	21.5 138.1	18.6 114.1	15.9 92.5	13.0 120.9	12.2 68.5	13.3 68.0	15.7 58.0	18.0 80.5	19.6 84.8	21.9 64.8	17.9°C 1132.2mm
196 Wellington (41° 17' S, 174° 46' E)		16.6 67.8	16.7 64.8	15.5 91.7	13.7 103.4	11.3 119.4	9.5 141.4	8.8 138.5	9.1 133.5	10.4 100.1	11.6 111.1	13.4 98.6	15.1 85.6	12.6°C 1256mm

『理科年表20年版』より

問2 20 ⑤ 【基本】

カ グレートバリアリーフ(大堡礁)→G クインズランド州

ク 掘り抜き井戸、ウルル →F ノーザンテリトリー

キ 金(カルグーリー)、鉄鉱石(ピルバラ)→E ウェストオーストラリア州
ボーキサイトはダーリングレンジ。ウェイパやゴヴを思い出しGやFとしないように。鉄鉱石やクの文章をよく読んで判断する。

問3 21 ④ 【基本】 西側はサザンアルプス山脈が海に迫っており、森林が多い。また、偏西風と地形性降雨の影響で西側は多雨地域となり、牧羊地帯になりにくい。牧羊地域は乾燥・半乾燥地域。

① 南半球の新大陸共通。オーストラリアの場合、羊肉と酪農のチーズ。肉牛ではない。ニュージーランドはバター。アルゼンチンは牛肉。ブラジルは戦後のことなので、正確にいえばあてはまらないが、牛肉輸出があてはまると考える。

② 南東、南西部の降水量が250～500mmくらいの地域は粗放的に企業的牧畜が行われている。南東部の500～1000mmくらいの地域は牧草・小麦との組み合わせた集約的な牧羊=混合農業が行われている。

cf. 牧牛地域：東部から北東部 500mm以上 企業的牧畜で粗放的、フィードロットにもあり。

③ 北島(きたじま)は降水量が多く、酪農や肉牛飼育が多い牛の島。

問4 22 ⑤ 【基本】 オーストラリアの貿易の代表的な問題

イギリスがEC加盟し欧州重視になるまではイギリスが貿易相手国1位

その後、アジアとの結びつきを強め、日本が貿易相手国1位

近年、中国の経済成長によって、製品の輸入、石炭・鉄鉱石の輸出が増え、中国が貿易相手国1位(2007年から)

J 1960年で2位が1990年で1位に上昇→日本

L 2009年に突如1位になっている →中国

K 経済関係の相対的地位が低下 →アメリカ

- 問5 23 ① 前問の22や日本の在日朝鮮韓国人などを含んだ移民問題の考え方を使得って考える。
 P とともに1位だが、割合が減少→昔居住者が多いが、近年減少している→英 cf. 高齢化も進んでいると考えられ、死亡率も高いだろう。
 R 2006年にランクイン→中国 中国が1980年代に大量の移民を出しているとは考えづらい。

Q 残り。イタリア。

- 問6 24 ① 【基本】消去法で解く。④はしっかり地図帳を見ておく。
 ② スペイン・ポルトガルは南米。
 旧宗主国 英9(+1) 米3(+3) 仏1(+3) 豪1(+3) ニュ1(+1)
 ()は現在の属領の数
 ③ ほとんどがキリスト教
 ④ ニューージーランドはポリネシアに属する。他、ハワイもポリネシアである。

■オーストラリアを中心とした地誌は問われる事象がそれほど多くなく、易しくなりやすい。その中でもよく考えられた大問になっていると思う。

第5問 (配点15点：各3点) 【現代の諸課題】

- 問1 25 ① 【基本】文章読解。消去法。
 ① 人口増加率の高いところが、栄養不足人口率の高いところになっていることから、正しい文章といえる。
 ② 穀物自給率が高いとあるが、乾燥地域のため高くはない。帝国帳p117
 ③ 西欧では乳児死亡率は高くない。高齢化による死亡率は高まっている。
 ④ アメリカからの援助ではなく、穀物をはじめとした食糧生産が十分なために、栄養不足人口率が高くない。

- 問2 26 ③ 【基本】途上国の都市人口は農村人口の流入で増加しているため、誤り。
 ① ソウルは韓国人口の約20%近くが居住する典型的なプライメートシティ。
 ② 途上国の首都でも現代的なオフィスビルがある。
 ④ ヒスパニックなどの移民が居住するのはインナーシティが多く、治安の悪化が問題となっている。

- 問3 27 ② 【難】いずれも途上国の都市で判別が難しい。就業する児童の割合を見ると混乱するだろう。1人あたりGNIが頼り。
 ③ 最も1人あたりGNIが多い。都市人口率が高い→ブラジル 南米は都市人口率が高い。
 ① 都市人口率が低い。1人あたりGNIが少ない →バングラデシュ
 ④ 都市人口率が低い。1人あたりGNIが1000ドル近い→インド
 ② 都市人口率が高い。1人あたりGNIが多い。 →フィリピン
 山がちで都市人口率が高くなりやすい。4か国中、ブラジルに次ぐ工業国

- 問4 28 ⑥ 【基本】
 A 大戦後の民族国家建設、追放された人々→ウ イスラエル cf. ユダヤ人
 B 山岳地帯の少数民族→イ クルド人 cf. 国を持たない民族
 C 連邦国家が分裂 →ア 旧ユーゴスラビア

問5 29 ⑤ 【易】

P 水力多い→ノルウェー

Q 地熱多い→イタリア

R 風力多い→デンマーク cf. 風力発電の発電機メーカーはドイツ・デンマークが強い

■例年、諸課題がそれぞれ1テーマずつ出題され、バランスよくできている。27に手間取ったかもしれないが、頻出の国の1人あたりGNIや工業化について、理解を深めておきたい。

第6問 (配点16点：31 35各2点、他3点) 【奄美大島の地域調査】

問1 30 ④ 狭い地域なので判別しづらい。年較差で判断する。

イ 最も年較差が小さい→低緯度の久米島

ウ 年較差が中間 →次に低緯度の屋久島

ア 最も年較差が大きい→最も北の宮崎

cf. 赤道に近いほど、年較差が小さくなる

問2 31 ② 【難】 マングローブは潮間帯に生息。図の標高の濃淡は高い方を濃くしてほしい。

カ 植物があり、泥地でもありマングローブが生育している。

キ 岩礫地とあり、珊瑚礁とわかる。

A キの写真には広い外洋が写っており、外洋に面しているのはA。

B カの写真に写っている山は入り江のように見える。入り江や河口の方が、潮の満ち引きが大きく、マングローブの生育条件にある。

問3 32 ② 【易】 問題文が長い割に設問は易しい。地域調査の方法の問いは限界がある。

② 地形図では細かい植生まではわからないし、生育密度もわからない。

③ 聞き取り調査をして、実態を調査することは可能。

④ アンケートで調査できる事柄である。

問4 33 ② 時間がかかるが、正確に図を読み取ればできる。疲れたころのこの問いは厳しい？

年少人口：14歳未満 生産年齢人口：14歳以上65歳未満 老年人口：65歳以上

① 正 名瀬－全国(白) > 瀬戸内－全国(黒)なので、名瀬の方が年少人口率の割合が高いことがわかる。

② 誤 名瀬－全国(白)がすべてにおいてプラスなので、全国より高い。

③ 正 名瀬－全国(白)と瀬戸内－全国(黒)ともにマイナスがほとんどだが、そのマイナス幅は名瀬－全国(白)の方が小さい。よって、名瀬の方が人口率が高いとわかる。

④ 正 名瀬－全国(白) < 瀬戸内－全国(黒)なので、名瀬の方が高齢人口率の割合が低い。

問5 34 ③ 【基本】 特殊軌道ではなく、送電線である。

① 地図の左上に新たな道路が建設され、トンネルができています。

② 白くなっている港湾や灯台が湾の入り口に2つ設置されている。

④ 水田がなくなり、建物が新たにできています。

問6 35 ② 【易】

- ② マーストリヒト条約は欧州統合条約で、EUに統合する内容である。
- ① 1992年の地球サミットで署名された条約。ラムサール条約やワシントン条約を補完し、生物の多様性を包括的に保全し、生物資源の持続可能な利用を行うための国際的な枠組みを設けるための条約。
- ③ 「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」
- ④ 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約」

■問題文がそれぞれ長く、読むのに時間がかかった。また、問い自体は易しいものがほとんどであるが、着眼点がわかりにくく、受験生にとっては難しく感じたかもしれない。たとえば、30の緯度と年較差の関係に気づいたり、33の資料読み取りや長文の問題文は時間がかかっただろう。また、31に関してはどのように解くのか、戸惑ったかもしれない。逆に35のような極端な易問があり、地域調査としてはあまりいいとは思わない大問である。

- 大問6題で変わらず。大問ごとのテーマは本試験と同様。問題数、配点も同様であった。昨年と同様。
- 地理Aとの共通問題は第6問の地域調査のみであった。